



# Team Dainan

八千代市立大和田南小学校  
《校長室だより》  
令和3年度 第19号  
令和3年 9月6日

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

～全校で取り組む新しい生活様式「大南スタイル」～



放送の合図による分散下校

新学期がはじまり、1週間がたちました。8月下旬頃でしょうか、新学期が始まると学校でクラスターが発生するのではないかとニュースで報じられていました。

保護者の皆さまにおかれましては、お子様の登校に不安を抱かれていたのではないのでしょうか。

本校では、児童の命を守るために、夏季休業期間中に、大南小感染症対策委員会を開き、学校でクラスターが発生するリスクを軽減するための行動様式「大南スタイル」の見直しを行いました。

大南スタイルは、登校時から下校時までを時系列に沿って留意すべき事項をまとめたものです。この大南スタイルは、全教職員が共通理解しておりますので、クラスによって対応が違うということがないようにしています。

一例として、緊急事態宣言下、音楽科の学習では、歌やリコーダー、鍵盤ハーモニカなどの管楽器を使った学習を行うことができません。しかし、それでは、子供たちの「学び」を止めてしまうこととなります。そこで、子供たちの学習の質を落とさないようにするために、新たにキーボードを購入し、学習に取り入れました。「感染対策」と「学び」の両立です。

子どもたちの命を脅かすものは、新型コロナウイルス感染症だけではなく、食物アレルギーやノロウイルスなどもあります。

本校では、養護教諭を中心として夏季休業期間中に、エピペンの使い方や児童がおう吐した場合の吐物の処理の仕方などの研修も合わせて行いました。

学校でも「感染対策」と「学び」のバランスを考えながら、今できることに最善を尽くしていきたいと思っております。

ご家庭でも、引き続き健康観察カードのご記入等ご協力をお願いいたします。



キーボードを使った音楽科の授業

# 命を守る学習 ～ 水害からの避難訓練～



7月15日 正門付近の様子

本校は、地震や火災が起きたときの避難所となっていますが、水害が起きたときには、避難所になっていません。昭和30年頃の写真を見ると高津川沿いは、かつて水田だったことから水が集まる場所であったことがうかがい知れます。

平成25年10月の台風では、大和田地区は床上浸水などの被害が発生しました。八千代市から出されているハザードマップを見ると本校も浸

水した対象地域に含まれています。対策として、本校の校庭の地下に調整池が作られましたが、貯めた水を花見川まで流すための工事は、現在行われているところです。

近年のゲリラ豪雨や台風により本校でも冠水する回数が年々増えてきました。7月のゲリラ豪雨では、正門付近の道路は川のようになり、側溝からは水が噴き出し、マンホールのふたが吹き上げた水で移動してしまいました。このときは、比較的短い時間で雨雲が通り過ぎましたが、もし、線状降水帯が発生し、長く降り続いていたらと思うと危機感を強く感じました。

1年を通して秋は、台風が多く発生する時期でもありますし、また、発生した台風は、本州に接近しやすい季節となります。そこで、9月の避難訓練は、豪雨により、校舎の1階が冠水したという想定で行いました。1階には、えがお学級と2年生の教室があります。1階の教室の児童は、2階以上に垂直避難をし、2階以上のクラスは、教室に避難所を設営するという内容で行いました。

現在、4年生の社会科では、「自然災害からくらしを守る」という学習を行っています。日本では近年地球温暖化による気候の変化が著しく、自然災害への不安が高まっています。それに対して、地域の関係機関や地域の人々が被害を少しでも減らすための対策を日々講じているところでもあります。

この学習では、「自助」に焦点を当て、自分たちができる防災について考えていきます。自分事として防災について考えていくことで、「学んだことを踏まえて、自分に今できることを考える」、「身近なところから少しずつ備える」、「小さな備えが、やがて自分や身近な人の命を守ることになる」といったESDの視点をもてるようにすることをねらいとしています。

八千代市のホームページには「地震」「水害」「土砂災害」に関するハザードマップが掲載されています。ご家庭でもお子様と一緒にご覧になり、災害が起きたときは、どうするか話し合わせてみてはいかがでしょうか。



2年生 垂直避難



4年生 社会科「自然災害からくらしを守る」